

平成28年度 事業報告書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

学校法人 尚美学園

目 次

	頁
I 法人の概況	
1. 設置する学校・学部・学科等	1-2
2. 役員の概要	3
3. 教職員の概況	3
4. 学校法人の沿革	4
II 尚美学園大学 事業報告	
1. 事業の概要	5-6
2. 学生諸活動報告	6-9
3. 予算執行の概要	9-10
III 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告	
1. 事業の概要	11
2. 学生諸活動報告	11-14
3. 予算執行の概要	14-15
IV 設備の状況	
1. 主要な設備の状況	16
V 財務の状況	
1. 決算の概要	17-20

I 法人の概況

1. 設置する学校・学部・学科等

(平成28年5月1日現在)

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等		入学定員	編入学定員	収容定員	学生数		
							1年	2年	
尚美学園大学	埼玉県川越市 豊田町1-1-1 (049-246-2700)	修士	総合政策研究科	政策行政専攻	10人	—	20人	1年	12人
				2年	14人	計	26人		
			芸術情報研究科	情報表現専攻	10人	—	20人	1年	4人
				2年	7人	計	11人		
			音楽表現専攻	1年	8人				
				2年	7人	計	15人		
		小計		30人	—	60人	52人		
		学士	芸術情報学部	情報表現学科	1年	164人			
					2年	225人			
					3年	187人			
					4年	198人			
					計	774人			
				音楽表現学科	1年	69人			
					2年	79人			
					3年	138人			
					4年	156人			
					計	442人			
				音楽応用学科	1年	71人			
					2年	82人			
					3年	—			
					4年	—			
					計	153人			
				舞台表現学科	1年	84人			
					2年	77人			
					3年	—			
					4年	—			
					計	161人			
総合政策学部	総合政策学科	1年	76人						
		2年	77人						
	ライフマネジメント学科	3年	79人						
		4年	174人						
		計	406人						
	1年	157人							
	2年	189人							
	3年	204人							
	4年	224人							
計	774人								
小計		660人	50人	2,740人	2,710人				
合計		690人	50人	2,800人	2,762人				

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等		入学 定員	収容 定員
尚美 ミュージックカレッジ専門学校	東京都文京区 本郷 4-15-9 (03-3814-8761)	音 楽 専 門 課 程	ピアノ・電子オルガン学科	40 人	40 人
			ピアノ学科	—	30 人
			電子オルガン学科	—	30 人
			管弦打楽器学科	80 人	160 人
			ポップ・ソング・コンテンポラリー学科	40 人	80 人
			ヴォーカル学科	80 人	160 人
			プロミュージシャン学科	100 人	200 人
			アレンジ・作曲学科	80 人	160 人
			ミュージカル学科	40 人	80 人
			ダンス学科	40 人	80 人
			声優学科	60 人	120 人
			音響・映像学科	100 人	180 人
			ミュージックビジネス学科	80 人	160 人
			エンタテインメントビジネス創造学科	40 人	80 人
			音楽総合アカデミー学科	60 人	240 人
合 計			840 人	1,800 人	

2. 役員概要

(1) 理事及び監事（理事の定員：9名、外部理事：うち5名）

(平成29年3月31日現在)

役職	氏名	担当職務	現職
理事長	久保 公人		大学学長
副理事長	渡辺 省吾	財務・事務担当	法人本部長
理事	野口 浩志	教学担当	専門学校学校長
理事	柳沼 雅彦	事務担当	大学事務局長
理事（外部）	高橋 利幸	学校運営担当	音楽家
理事（外部）	高山 弘憲	渉外担当	会社役員
理事（外部）	潮木 守一	学校運営担当	名古屋大学・桜美林大学 名誉教授
理事（外部）	富澤 一誠	学校運営担当	音楽評論家
理事（外部）	山本 眞一	学校運営担当	桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科教授
監事	込山 進		
監事	竹田 剛志		税理士

(2) 評議員（定員：19名）

平成29年3月31日現在、評議員の総数は19名。

3. 教職員の概況

教職員数(人)

(平成28年5月1日現在)

区分	大 学		専門学校		計
	教員	職員	教員	職員	
本 務	80	75	40	74	269
兼 務	275	0	303	3	581
合計人数	355	75	343	77	850

4. 学校法人の沿革

1926 (大正 15) 年	音楽家赤松直氏 私塾「尚美音楽院」を開設
1954 (昭和 29) 年	音大受験科開設
1959 (昭和 34) 年	尚美高等音楽学園各種学校許可受領
1967 (昭和 42) 年	学校法人尚美高等音楽学園として認可
1972 (昭和 47) 年	学校法人尚美学園尚美高等音楽学院に改称
1974 (昭和 49) 年	財団法人音楽教育研究所が本学園に移管
1976 (昭和 51) 年	専修学校制度の発足に基づき、尚美高等音楽学院、専門学校認可 ディプロマコース開設
1981 (昭和 56) 年	尚美音楽短期大学開学 (音楽学科・音楽情報学科)
1983 (昭和 58) 年	尚美高等音楽学院に音楽音響マスコミ専門課程設置 財団法人日本音楽教育文化振興会設立 (財団法人音楽教育研究所を改組)
1984 (昭和 59) 年	東京音楽音響マスコミ専門学院を設置
1985 (昭和 60) 年	尚美高等音楽学院を「東京コンセルヴァトアール尚美」に改称 東京音楽音響マスコミ専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学院」に改称
1986 (昭和 61) 年	尚美音楽短期大学を「尚美学園短期大学」に改称 (音楽ビジネス学科開設)
1989 (平成 1) 年	東京音楽音響ビジネス専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学校」に改称
1990 (平成 2) 年	尚美学園短期大学に情報コミュニケーション学科開設 皇太子殿下、尚美学園バリオホールに行啓、音楽会を鑑賞
1991 (平成 3) 年	東京コンセルヴァトアール尚美と東京音楽音響ビジネス専門学校を統合
1998 (平成 10) 年	東京コンセルヴァトアール尚美を「専門学校東京ミュージックアンドメディア アーツ尚美」に改称
2000 (平成 12) 年	尚美学園大学を開学 (総合政策学部・芸術情報学部) アメリカ・南カリフォルニア大学 (USC) シネマ・テレビジョン学部と提携 フジテレビジョンフォーラムにて SHOBI&USC 提携記念「国際映画放送カン ファレンス 2000」を開催
2003 (平成 15) 年	専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美 新本館完成
2004 (平成 16) 年	尚美学園大学大学院総合政策研究科 開設
2006 (平成 18) 年	尚美学園大学大学院芸術情報研究科 開設
2007 (平成 19) 年	尚美学園大学総合政策学部ライフマネジメント学科 開設
2010 (平成 22) 年	専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美を「尚美ミュージックカ レッジ専門学校」に改称
2013 (平成 25) 年	尚美学園大学上福岡キャンパスを川越キャンパスに統合
2015 (平成 27) 年	尚美学園大学芸術情報学部音楽応用学科・舞台表現学科 開設

II 尚美学園大学 事業報告

1. 事業の概要

(1) 学生募集状況

平成 28 年 4 月の入学者は、総合政策学科、ライフマネジメント学科、音楽表現学科において入学定員を下回り、少子化や他大学との競争など外的要因もある中で引き続き厳しい状況が続いている。

このような学生募集状況の下、HP を一新して新鮮さを全面にだし、電車広告では学部ごとにドア横で広告するなどの広報活動を展開するとともに、募集活動では高校訪問、ガイダンス、オープンキャンパスの実施、特にオープンキャンパスでは 2 年生や留学生向けに限定した日を設けた結果、前年から参加者を増員させることができた。また、高校・日本語学校の進路指導教員を対象とした説明会を、尚美ミュージックカレッジ専門学校と合同で行い、SHOBI ブランドの強化と学生募集面における相乗効果も図っている。

(2) 高大連携状況

高校及び日本語学校との連携を強化すべく、埼玉・東京を中心に提携校としての締結に向けた推進をし、教育連携（吹奏楽部指導、校歌制作支援）、進路指導連携（本学単独の出張授業・ガイダンス、特待生入試制度）を結ぶ提携及び調印式を実施して連携強化に取り組んだ。今後も引き続き推進する計画である。

(3) 学科改革状況

平成 30 年に向けた総合政策学部、音楽表現学科の改革案をまとめた。総合政策学部の総合政策学科においては、学生がより具体的に進路を意識できるように、目指す進路に応じたコース制に再編することとした。ライフマネジメント学科においては、芸術文化、伝統文化の学びに加え、生活文化、ポピュラーカルチャーの学びを取り込み、企画、マネジメント領域に特化する教育展開をするとともに、スポーツ指導、スポーツビジネスに関する資格取得に対応する科目も導入することとした。

音楽表現学科においては、学生が自由に実技と学びを選択できる環境を実現させるためコース制を廃止して専攻制を導入し、演奏家ではなく将来音楽業界の仕事に携わりたい志向の学生、教員志向の高い学生、より高度な実技レベルを持った学生を受け入れられるよう新たな専攻を加えて再編することとした。

(4) 退学者防止対策

学生募集の厳しい状況もさることながら、退学者の防止対策についても緊急課題と位置づけ、大学全体で組織的に取り組む対策をまとめて 6 月からスタートさせた。

退学者予備軍の早期把握と連絡システムの構築、アドバイザーによる一斉面談、教員・職員対応の明確化と連携、保護者への理解（学生ハンドブック抜粋送付、入学式後の保護者会周知）など実施した。

(5) 履修登録方法の変更（Web 履修登録）

学生の履修登録における作業の簡素化・効率化と、事務局学生サービス体制の向上、教員によるスムーズな授業開始と質の保証を強化するために、申請用紙による履修登録に変え、Web による履修登録システムを導入した。教員・職員による未登録者への早期アドバイス、指導・サポート体制の構築に成果をあげている。

(6) 学生総合アシスト室

様々な特性を備えた学生が等しく学ぶ環境を保障し、抱えている問題に応じて支援や援助を行い、充実した学生生活を送ることを目的として学生総合アシスト室を設置した。学生課・カウンセリングルーム・保健室などの担当者や、関連組織の教職員が協力して援助を行っている。

(7) ハラスメント防止対策

ハラスメントの防止及び排除のための措置並びにハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するために、教職員を対象に特定社会保険労務士を招き講習会を行い、意識啓発を図った。FD、SDの一環としても引き続き推進する。

(8) 学生諸活動

学生諸活動について、個人では芸術情報学部の学生のコンクールやオーディション活動、団体ではスポーツ系を中心にした指定サークル活動においてそれぞれ成果をあげている。このうち、女子硬式野球部の1名は、WBSC女子野球ワールドカップに日本代表として選出されている。また、チアダンス部は全米学生チアダンス選手権大会で部門優勝するなど顕著な成績をおさめている。

総体的な取り組みは、以上の通りである。

2. 学生諸活動報告

コンクール・オーディション合格・受賞等

- ① 第101回二科展 入選 情報表現学科 4年生
- ② 平成28年度特定ラジオマイク運用調整機構 第16回技術賞 学生部門
審査員奨励賞受賞 情報表現学科 4年生
- ③ 第54回全日本スキー技術選手権大会出場 音楽表現学科 1年生
- ④ 第22回学生CGコンテストエンターテイメント部門 評価賞受賞 情報表現学科 4年生
- ⑤ 第73回現展 新人賞受賞 情報表現学科 4年生
- ⑥ 株式会社CLIP主催 カードデザインコンテスト 優秀賞受賞 情報表現学科 3年生

指定サークル

- ① 剣道部
 - ア. 第62回関東学生剣道選手権大会出場
 - イ. 第48回関東女子学生剣道選手権大会出場
 - ウ. 第47回埼玉学生新人剣道大会
団体：準優勝
個人：第3位
 - エ. 第42回埼玉女子学生剣道選手権大会
個人：優勝
 - オ. 第65回関東学生剣道優勝大会出場
 - カ. 第42回関東女子学生剣道優勝大会出場
 - キ. 第64回全日本学生剣道選手権大会出場
 - ク. 第62回関東学生剣道新人戦大会出場
 - ケ. 第17回関東女子学生剣道新人戦大会出場
 - コ. 第49回埼玉学生剣道優勝大会・第12回埼玉女子学生剣道優勝大会
男子団体：準優勝
男子個人：ベスト8
女子団体：準優勝
女子個人：ベスト8
 - サ. 第54回埼玉県西部地区剣道大会：準優勝

シ. 第 69 回川越市体育祭剣道競技

女子団体：優勝

ス. 第 27 回川越剣道祭

男子個人：優勝・準優勝

女子個人：優勝・準優勝

② 男子サッカー部

・TOP チーム

ア. 平成 28 年度彩の国カップ大学代表決定戦：ベスト 4

イ. 第 46 回埼玉県大学サッカーリーグ戦 1 部：準優勝

・クラブ フェニックス

ア. 平成 28 年度埼玉県社会人サッカー 1 部リーグ戦：第 10 位

③ 女子サッカー部

ア. 第 38 回埼玉県女子サッカー大会(皇后杯予選)：ベスト 4

イ. 平成 28 年度関東一般女子サッカーリーグ (2 部)：第 4 位

ウ. 関東 Liga Student 2016 決勝大会：第 11 位

エ. 第 30 回関東大学女子サッカーリーグ戦 2 部：第 6 位

オ. 第 2 回十文字女子サッカーフェスティバル：準優勝

カ. ユニバーシアード日本女子代表候補選出 1 名

キ. 第 71 回国民体育大会選出 3 名

④ 女子硬式野球部

ア. 2016 年関東女子硬式野球ヴィーナスリーグ戦：第 3 位

イ. 第 2 回全国大学女子硬式野球選手権高知大会：優勝

ウ. 第 12 回全日本女子硬式野球選手権大会出場

エ. 第 6 回全国大学女子硬式野球選手権大会：優勝

オ. 第 6 女子硬式野球ジャパンカップ出場

カ. 関東女子硬式野球フレンドシップトーナメント：第 3 位

キ. 第 7 回 WBSC 女子野球ワールドカップ日本代表選出 1 名 ライフマネジメント学科 2 年生

⑤ バドミントン部

ア. 平成 28 年度関東大学バドミントン春季リーグ戦

男子 3 部：第 2 位

女子 3 部：第 3 位

イ. 平成 28 年度関東大学バドミントン秋季リーグ戦

男子 3 部：第 2 位

女子 3 部：第 2 位

ウ. 第 18 回埼玉県学生バドミントン大会

男子シングルス：優勝・準優勝

男子ダブルス：準優勝

女子シングルス：優勝・準優勝

女子ダブルス：優勝・準優勝

エ. 第 58 回東日本学生バドミントン選手権大会 男女出場

オ. 第 66 回全日本学生バドミントン選手権大会女子ダブルス出場

カ. 平成 28 年度関東学生バドミントン新人選手権大会

男子団体：優勝

男子ダブルス：ベスト 16

男子シングルス：ベスト 8

男子シングルス：ベスト 8

⑥ 女子チアダンス部

ア. NCA&NDA 全米学生チアダンス選手権大会 final

Dance Team PerformanceⅢ部門：優勝

イ. USA School & College Competition 2016

大学編成 Pom-Advance 部門：第 3 位

ウ. JCDA 第 14 回全日本学生チアダンス選手権大会関東予選

チアダンス部門大学生編成：第 1 位

エ. JCDA 第 14 回全日本学生チアダンス選手権大会決勝大会

チアダンス部門大学生編成：第 1 位

⑦ 新・音楽集団「匠」

ア. さいたまシティオペラ「フィガロの結婚」出演

イ. 聖アンデレ教会チャリティコンサート出演

ウ. 大東ガスクリスマスコンサート出演

エ. 蓮田特別支援学校訪問演奏

オ. 鶴瀬西交流センターフェスティバル出演

カ. 川越第一中学校合唱祭招待演奏

キ. 北前野小学校芸術鑑賞会出演

ク. まどか富士見台クリスマスコンサート出演

ケ. 里山讃歌音楽祭 KAWAGOE2016 合唱出演

コ. 第 15 回定期演奏会

サ. 教員免許更新講習合唱モデル

就職実績 抜粋

公務員

① 警視庁 (3)

② 埼玉県警

③ 群馬県警 (2)

④ 神奈川県警

⑤ 山梨県警

⑥ 岐阜県警

教員

- ① 神奈川県座間市立相模中学校
- ② 埼玉県新座市立第二中学校
- ③ 学校法人翔光学園横浜創学館高等学校
- ④ 埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
- ⑤ 学校法人石井学園赤羽幼稚園

教育機関

- ① 学校法人尚美学園尚美学園大学 (2)
- ② 学校法人郷学舎アルプスコンピュータ専門学校
- ③ キノシタ学園日本語学校

音楽・エンターテインメント関連

- ① 株式会社 oricon ME
- ② 株式会社山野楽器
- ③ 株式会社 U S E N
- ④ エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社
- ⑤ 株式会社東京音響通信研究所

その他

- ① 日本郵便株式会社
- ② 株式会社三越伊勢丹
- ③ 株式会社 D H C
- ④ 株式会社東京ドームホテル
- ⑤ F C 大阪

スポーツ選手

- ① ディオッサ出雲 F C
- ② 伊賀 F C くノ一
- ③ 太田レディースサッカークラブ (2)
- ④ 愛媛 F C レディース
- ⑤ N G U ラブリッジ名古屋
- ⑥ 京都フローラ

3. 予算執行の概要

(1) 広報・学生募集

(2) 教育研究の向上、推進

- ① 基礎・総合演習（ゼミ）等の少人数の教育によるきめ細やかな指導
- ② 公務員試験対策、資格取得支援等の強化
- ③ アクティブ・ラーニングの積極的な導入・実施

- ④授業アンケート・学生アンケートの更なる有効活用に向けた取り組み
- ⑤Webサービス機能の充実、教員・学生・保護者間の情報共有の迅速化

(3) 就職支援

- ①低学年（1，2年次）向けキャリア教育の実施、職業意識の醸成を図る
- ②社会人基礎力・就業力向上のための支援

(4) 管理運営

(5) 教育環境の整備・充実

- ①施設関係改修工事
教室棟空調設備、サッカーグラウンド、教室棟防水工事
- ②教育機器の更新、修理による適切な教育環境の確保
学内ネットワークの再構築、スタジオ関係機材、楽器、他
- ③ネットワーク環境、コンピュータ学習環境の維持、充実
ネットワーク機器、アプリケーションライセンス、ネットワーク及びPC環境保守、
コンピュータウィルス対策 他
- ④維持管理
電気、水道、ガス、スクールバス、清掃委託、消耗品 他

Ⅲ 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告

1. 事業の概要

(1) 教育方針と教育実践活動

本学では、パーソナル教育、実践教育、コラボレーション教育の「3つの教育ポリシー」と、それを具体的に推進するための具体的な取り組みである「6つの教育推進目標」を掲げ、徹底した実践により学生の夢の実現を目指すことのできる教育を展開している。

平成28年度は年間に200以上に及ぶ学校・学科主催のコンサート等の実践体験を通して、教育の底上げを図り、就職はもとよりデビューやコンクール合格など、学外に告知できる実績を積み上げることができた。

また一方では、これまでの学校運営を原点から見直し、教育面では手法、クラス編成、設備、機材など細かな点にまで着眼して、より良い教育運営と収支バランスの効率化を前提としたカリキュラムの再構築を図った。

(2) 教育環境の整備

① 2号館の空調設備の更新を行った。

陳腐化した空調設備を更新した。

② 本館の給水装置の更新を行った。

老朽化及び1号館への給水を行う理由から給水装置を更新した。

③ クオーレの防音改修工事

クオーレを録音ルームにするために防音改修工事を行った。

④ 本館・2号館通路改修工事

楽器運搬等が行いやすいように本館・2号館の通路を改修した。

(3) 学生募集状況

- ・各学科の募集強化プラン策定と実施
- ・尚美学園大学との合同説明会
- ・その他

2. 学生諸活動報告

(1) コンクールなどへの入賞者・合格者抜粋

① 第22回 KOBE 国際コンクール C 部門(大学生・一般)

優秀賞＋神戸市民文化振興財団賞 主催；KOBE 国際コンクール実行委員会
(音楽総合アカデミー学科 3年生 管弦打楽器コース トランペット専攻)

② 小澤征爾音楽塾オーケストラ・オーディション合格 主催；小澤征爾音楽塾 (音楽総合アカデミー学科 4年生 管弦打楽器コース トランペット専攻)

③ 第26回日本クラシック音楽コンクール全国大会 5位 主催；日本クラシック音楽協会 (音楽総合アカデミー学科 4年生 管弦打楽器コース サクソフーン専攻)

④ 第22回浜松国際管楽器アカデミー合格 主催；浜松市文化振興財団 第33回クラシック音楽オーディション合格 主催；板橋区文化国際交流財団 (管弦打楽器学科 サクソフーン専攻)

⑤ 学生のための電子オルガンによる作品コンテスト 優秀賞 (第1位)

主催；全日本電子楽器教育研究会
(音楽総合アカデミー学科 3年生 電子オルガン専攻)

⑥ 合同オーディション 合格 主催；株式会社ワーナーミュージック・株式会社ケイダッシュ (ヴォーカル学科 2年生 ヴォーカル専攻)

⑦ 所属オーディション 主催；ケイダッシュステージ (ヴォーカル学科 2年生 ヴォーカル専攻)

- ⑧ “桃色革命”メンバーオーディション合格 主催；モンスタージャパンアソシエーション
(ヴォーカル学科2年生 ヴォーカル専攻)
- ⑨千菅春香(アーティスト・声優)DEBUT LIVE「FIRST TRY!」バックダンサー合格
主催；ダンデライオン
(ダンス学科2年生 ダンス専攻)
- ⑩LAWSON DREAM ARTIST AUDITION 準グランプリ 主催；ローソン+アソビシステム
(プロミュージシャン学科1年生 バンドヴォーカル専攻)
- ⑪東宝映画「サクラダリセット」ミュージシャン役 合格
(プロミュージシャン学科1年生 ベース専攻)
- ⑫東宝映画「サクラダリセット」ミュージシャン役 合格
(プロミュージシャン学科1年生 ギター専攻)
- ⑬東宝映画「ナラタージュ」主演男優吹替え 合格
(プロミュージシャン学科1年生 シンガソングライター専攻)

(2) 就職先抜粋 スタッフ系 (音楽ビジネス・音響・照明など)

- ①ソニーミュージックアーティスト
- ②五木プロモーション
- ③オスカー
- ④スーパーテレビジョン
- ⑤キョードーファクトリー
- ⑥ポニーキャニオンアーティスト
- ⑦ホリプロコム
- ⑧ソニースタジオ
- ⑨東京舞台照明
- ⑩アニメイト
- ⑪松竹芸能
- ⑫レコード特信
- ⑬ジャパンミュージックシステム
- ⑭SHIBUYA BURROW
- ⑮シグマコミュニケーションズ
- ⑯中央舞台サービス内定
- ⑰フジキャリアデザイン
- ⑱総合舞台
- ⑲宮地楽器
- ⑳DeNA

(3) 就職先抜粋 作曲系 (アレンジ・作曲・音楽制作など)

- ①株式会社ハイキックエンタテインメント
(アレンジ・作曲学科2年生 2名)
- ②株式会社ザザ
(アレンジ・作曲学科2年生)
- ③株式会社アルファエンタプライズ
(アレンジ・作曲学科2年生)
- ④株式会社ワントラップ (アゲハスプリングス系列)
(アレンジ・作曲学科2年生 5名)
- ⑤株式会社レジェンドア
(アレンジ・作曲学科2年生)
- ⑥有限会社イーストサイドストーリー
(アレンジ・作曲学科2年生)

- ⑦株式会社スパイラルミュージック
(アレンジ・作曲学科 2 年生)
- ⑧株式会社クロスミュージックエンターテインメント
(アレンジ・作曲学科 2 年生 2 名)
- ⑨劇団歴史新大陸
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 アレンジ・作曲コース)
- ⑩維京互動科技有限責任公司 (中国)
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 アレンジ・作曲コース)

(4) 就職先抜粋 ダンス系 (ダンス学科など)

- ①インストラクター・オーディション合格 主催; Tomboy 新横浜スタジオ
(ダンス学科 2 年生)
- ② インストラクター・オーディション合格 主催; スタジオ DUAL
(ダンス学科 2 年生)
- ③ インストラクター・オーディション合格 主催; スタジオ DUAL
(ダンス学科 2 年生)

(5) デビュー抜粋

- ① サンリオダンサーオーディション 所属; 株式会社サンリオピーロランド
(ミュージカル学科 2 年生 2 名)
- ②劇団扉座研究生
(ミュージカル学科 2 年生)
- ③ユニバーサルジャパン 所属; 株式会社ユニバーサルジャパン
(ミュージカル学科 2 年生 3 名)
- ④ 音楽座研究生 所属; (株) ヒューマンデザイン
(ミュージカル学科 2 年生 2 名)
- ⑤ キッザニア 所属; KCJG 株式会社
(ミュージカル学科 2 年生)
- ⑥ アンパンマンミュージアム 所属; 株式会社 ACM
(ミュージカル学科 2 年生)
- ⑦ 劇団イツ・フォーリーズ
(ミュージカル学科 2 年生 4 名)
- ⑧ エーライツ 所属; エーライツ
(ミュージカル学科 2 年生)
- ⑨電オルガン新人演奏会 主催; 全日本電子楽器教育研究会・ヤマハ音楽振興会
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 電子オルガン専攻)
- ⑩第 35 回ヤマハ新人演奏会 木管部門 主催; 株式会社ヤマハミュージックジャパン
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 管弦打楽器コース クラリネット専攻)
- ⑪第 21 回ヤマハ新人演奏会 木管部門 主催; 株式会社ヤマハミュージックジャパン
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 管弦打楽器コースサクソフォン専攻)
- ⑫第 33 回ヤマハ新人演奏会 金管部門 主催; 株式会社ヤマハミュージックジャパン
(音楽総合アカデミー学科 4 年生 管弦打楽器コースユーフォニアム専攻)
- ⑬第 14 回サクソフォン新人演奏会 出演 主催; 日本サクソフォン協会
(音楽総合アカデミー学科 4 年生管弦打楽器コースサクソフオーン専攻)

(6) 声優所属劇団 (所属)

- ①アクロス エンタテインメント
(声優学科 2 年生)
- ②スターダス・21

(声優学科 2 年生)

③ プランダス株式会社 ※預かり所属

(声優学科 2 年生)

④ JTB エンタテインメント 特待スペシャル

(声優学科 2 年生)

声優研究生としての所属劇団 (特待生として)

① (株)EARLY WING 特待生

(声優学科 2 年生)

② C&O プロダクション 特待生

(声優学科 2 年生)

③ プロダクション・エース 研究科特待生

(声優学科 2 年生 5 名)

④ ふろだくしょんバオブア付属 BAO 特待生

(声優学科 2 年生)

⑤ エコー俳優・声優アカデミー

(声優学科 2 年生 6 名)

その他、研究生としての所属事務所

① マウスプロモーション

② シグマ・セブン

③ EARLY WING

④ ふろだくしょんバオブア付属 BAO

⑤ サン・ミュージック

⑥ プロダクション東京ドラマハウス

⑦ サンミュージック

⑧ プロダクション東京ドラマハウス

⑨ 劇団俳協

3. 当年度の予算執行の概要

(1) 教育の向上

各学科が、育成する人物像をより明確にし、カリキュラム、科目、教員を見直し、外部から見ても分かりやすく、魅力ある学科内容の構築を推進した。

①就職・アーティスト活動を見据えた社会人教育

卒業後の就職・アーティスト活動を見据え、専門教育の他にも社会に求められる教育を行い、就職率の向上を図った。

②特別講師による最先端教育

音楽・パフォーマンス・エンタテインメントプロデュースの各分野でオピニオンリーダーとして名高い方を特別講師として委嘱し、授業、レッスン、特別講座を実施して、最先端の知識、スキル、情報の習得を図った。

③優秀者指導の実施

各学科の優秀者に対して指導を行い、オーディション合格・デビューの促進を図った。

④教育成果の発表・発信

学科、学生の教育成果を公演、発表会、イベント、イベント制作、メディア制作等にて学外、学内に広く発表、発信した。全学科の年間合計イベント数は 87 本。発表、発信で得た評価を更なる教育の質の改善に反映させている。

⑤ SHOB I インターネットテレビ等の配信

SHOB I インターネットテレビ、U-stream で、学生の演奏会、作品制作のメイキング、学科独自の番組を配信して、外部へ広く公開し、学科及び学生の PR 拡大を図った。

⑥デビューセンターを活用したメジャーデビュープロデュース

本学の教育組織であるデビューセンターを活用して学内オーディションの実施と優秀者のメジャーデビュープロデュースを行った。

- ・「S-1」オーディションを1回実施した。
- ・グランプリ 「FLAT WOODS MONSTER」
- ・進グランプリ 「松本織穂理」、「タコミット」
進グランプリの二組について現在、作品作り、レコーディング、MV制作が進んでいる。

⑦学科独自の業界オーディション実施

オーディションに向けた対策講座の開催、模擬オーディションの開催から、学生のみを対象とした学科独自の業界オーディションを、業界から審査員を招聘して実施した。

⑧地域、企業と提携した演奏会・発表会

地域・企業と提携した演奏会・発表会を実施した。

- ア. 文京区シビックコンサート
- イ. 文京朝顔・ほおずき市運営協力・演奏
- ウ. 本郷防火の集い参画
- エ. 湯島天神梅祭り出演
- オ. 企業提携演奏会等 8件

(2) 学生支援

①奨学金

音楽と生きよう入学奨学生、新入特待生、新入ユニーク奨学生、新入社会人奨学生、新入留学生奨学生、編入特待生、進級特待生、進級勉学奨学生、同窓会推薦

②クラス単位での研究、懇親のためのクラス運営費

③資料室整備、ナクソスミュージックライブラリー運営費

④キャリアセンターの社会資格・就業支援プログラム講座等の運営費

⑤国際交流センター運営（留学生のフォロー）

⑥企業合同説明会を開催し、早い時期の就職の意識づけ、就職活動につなげた。

(3) 教育環境の整備・充実

①施設

- ア. 防音設備改修
- イ. 空調機器更新
- ウ. 教室内装改修

②教育機器

- ア. PC教室：PC及びソフト更新
- イ. 音響機器更新

③ネットワークシステムの維持、整備

サーバホスティング、インターネットサービス、サーバ保守、基幹ネットワーク保守、LAN運用保守、教室PCメンテナンス、コンピュータウィルス対策、教職員PC更新、ソフトウェアライセンス契約 他

④管理維持

電気、水道、ガス、施設保守、清掃委託、運搬、教育用・事務用消耗品 他

(4) 広報・学生募集

IV 設備の状況

1. 主要な設備の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分		面積又は数量	帳簿価額
土地	大学	136,455.24 m ²	5,419 百万円
	専門学校	2,903.30 m ²	4,421 百万円
	計	139,358.54 m ²	9,840 百万円
建物	大学	41,726.56 m ²	8,070 百万円
	専門学校	14,359.12 m ²	5,420 百万円
	計	56,085.68 m ²	13,490 百万円
教具校具及び備品	大学	2,866 点	517 百万円
	専門学校	1,194 点	141 百万円
	計	4,060 点	659 百万円
図書	大学	196,267 点	697 百万円
	専門学校	13,237 点	54 百万円
	計	209,504 点	751 百万円

※全ての金額について百万円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

V 財務の状況

1. 決算の概要

(1) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	
科目	当年度
学生生徒等納付金収入	4,600,138
手数料収入	31,425
寄付金収入	54,563
補助金収入	231,287
資産売却収入	300,771
付随事業・収益事業収入	6,553
受取利息・配当金収入	14,521
雑収入	127,558
借入金等収入	0
前受金収入	2,829,784
その他の収入	196,399
資金収入調整勘定	△ 2,774,214
前年度繰越支払資金	4,477,261
収入の部合計	10,096,051
支出の部	
人件費支出	2,674,417
教育研究経費支出	1,321,318
管理経費支出	846,168
借入金等利息支出	2,600
借入金等返済支出	200,000
施設関係支出	267,384
設備関係支出	201,661
資産運用支出	182,907
その他の支出	738,262
資金支出調整勘定	△ 438,639
翌年度繰越支払資金	4,099,971
支出の部合計	10,096,051

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

(2) 活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度
教育活動による資金収支	
教育活動資金収入計	5,028,233
教育活動資金支出計	4,841,903
差引	186,329
調整勘定等	161,340
教育活動資金収支差額	347,670
施設整備等活動による資金収支	
施設整備等活動資金収入計	24,076
施設整備等活動資金支出計	469,046
差引	△ 444,970
調整勘定等	36,853
施設整備等活動資金収支差額	△ 408,116
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△ 60,446
その他の活動による資金収支	
その他の活動資金収入計	398,443
その他の活動資金支出計	705,833
差引	△ 307,390
調整勘定等	△ 9,453
その他の活動資金収支差額	△ 316,844
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 377,290
前年度繰越支払資金	4,477,261
翌年度繰越支払資金	4,099,971

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

(3) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目		当 年 度
教育活動収支	事業活動収入の部	
	学生生徒等納付金	4,600,138
	手数料	31,425
	寄付金	42,263
	経常費等補助金	220,294
	付随事業収入	6,553
	雑収入	132,694
	教育活動収入計	5,033,370
	事業活動支出の部	
	人件費	2,676,422
	教育研究経費	1,982,913
	管理経費	883,440
	徴収不能額等	4,468
	教育活動支出計	5,547,244
	教育活動収支差額	△ 513,874
	教育活動外収支	事業活動収入の部
受取利息・配当金		14,521
その他の教育活動外収入		0
教育活動外収入計		14,521
事業活動支出の部		
借入金等利息		2,600
その他の教育活動外支出		0
教育活動外支出計		2,600
教育活動外収支差額	11,921	
経常収支差額		△ 501,952
特別収支	事業活動収入の部	
	資産売却差額	770
	その他の特別収入	27,648
	特別収入計	28,419
	事業活動支出の部	
	資産処分差額	16,393
	その他の特別支出	0
	特別支出計	16,393
	特別収支差額	12,025
基本金組入前当年度収支差額		△ 489,927
基本金組入額合計		△ 390,537
当年度収支差額		△ 880,464
前年度繰越収支差額		△ 4,719,582
基本金取崩額		87,407
翌年度繰越収支差額		△ 5,512,639
(参考)		
事業活動収入計		5,076,311
事業活動支出計		5,566,238

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

(4) 貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	
科 目	本年度末
固定資産	26,754,184
流動資産	4,260,066
資産の部合計	31,014,250
負債の部	
固定負債	494,309
流動負債	3,498,343
負債の部合計	3,992,653
純資産の部	
基本金	32,534,236
繰越収支差額	△ 5,512,639
純資産の部合計	27,021,596
負債及び純資産の部合計	31,014,250

※全ての金額について千円未満を切り捨て処理している為、合計は一致しない場合があります。

以上